

# インサル<sup>®</sup>マスキューブ 標準施工仕様書

株式会社エービーシー商会  
インサル事業部

## 【目次】

1.はじめに	1
2.取扱い上の注意事項	1
3.製品一覧	1
4.使用工具	2
5.施工上の注意事項	2
6.施工条件	3
7.標準施工仕様	3
8.施工後の注意事項	6

### 1.はじめに

本標準仕様書は、インサลมスキューブの取り扱い上での注意事項と、標準施工仕様について説明したものです。  
ご使用前に必ずお読みいただき、適切な取り扱い方法で安全に作業を行う様にしてください。

### 2.取り扱い上の注意事項

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- ・当商品を取り扱う際には必ず保護具(保護マスク、保護手袋、保護衣、保護メガネ等)を着用してください。
- ・当商品はプラスチック製品となりますので、火の近く、もしくは高温になる状態での保管は避けてください。
- ・当商品は4ピースで1セットとなりますので、必ずセットで使用してください。
- ・その他施工上の注意については、各仕上げ材の仕様に従って行なってください。

### 3.製品一覧

使用する箇所に応じて商品サイズ選定を行なってください。



#### インサル®マスキューブ 50

サイズ:  $\phi$ 50 用  
色 : グレー  
ライトグレー



#### インサル®マスキューブ 75

サイズ:  $\phi$ 75 用  
色 : グレー  
ライトグレー



#### インサル®マスキューブ 100

サイズ:  $\phi$ 100 用  
色 : グレー  
ライトグレー



#### インサル®マスキューブ 150

サイズ:  $\phi$ 150 用  
色 : グレー  
ライトグレー



#### インサル®マスキューブ 200

サイズ:  $\phi$ 200 用  
色 : グレー  
ライトグレー

#### 4.使用工具

以下の工具については現場で用意してください。



#### ディスクグラインダー

仕上げ材カット用  
配管カット用



#### ゴムハンマー

マスキューブ設置用



#### メジャー

距離測定用

#### モルタル

マスキューブ固定用



#### 清掃用具(刷毛など)

取付後清掃用



#### 水平器

水平確認用



#### スコップ

高さ調整用  
モルタル充填用

#### 5.施工上の注意点

- ・使用する仕上げ材により当商品設置位置の高さが異なりますので調整してから設置してください。

#### 厚み 60mm のインターロッキングの場合

当商品の高さは 80mm のため、厚さ 60mm のインターロッキングを使用する際は 25mm～30mm 程度、マスキューブ設置個所の地盤面を掘ってから設置

- ・マスキューブ設置時には金属製ではなく、ゴムハンマーを使用してください。
- ・モルタルを使用した際、表面に付着状態で放置すると除去できなくなる恐れがありますので、付着した際は設置後に刷毛などを使用し清掃を行なってください。
- ・モルタル硬化後は調整ができなくなるので、モルタル硬化前に位置の調整を行なってください。
- ・周囲の仕上げ材との隙間が 10mm 未満の場合は目地砂を詰め、隙間を埋めるようにしてください。

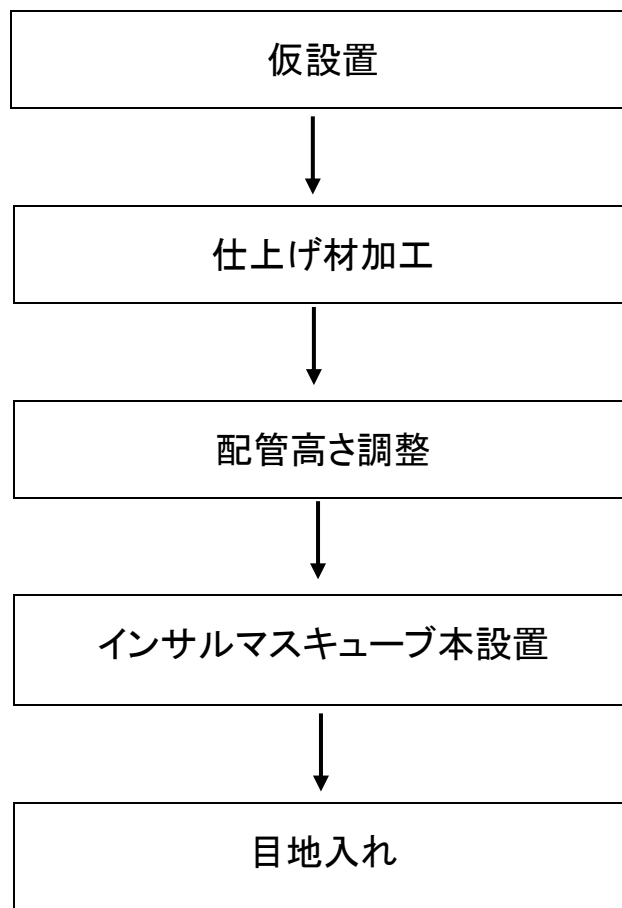
- ・配管の高さ調整は必ずマスキューブの仮置きを行ない、周囲との高さの確認後に行なってください。
- ・使用目地材などは仕上げ材により異なるため、仕上げ材の仕様に従ってください。
- ・仕上げ材のカットを行なう際は周囲の建物などに考慮し、仕上げ材の仕様に応じて騒音や粉塵対策を行なってください。

#### 6.施工条件




- ・仕上げ材の施工条件を参照し、施工を行なってください。


#### 7.標準施工仕様

### 施工手順




施工仕様

	<p><b>下地の整地など</b> 仕上げ材による整地方法に従い、行なってください。</p>	
<p>1</p>	<p><b>仮設置</b> 設置予定位置に仮置きする。 周囲の仕上げ材を加工したものを置き、設置が可能なかの確認を行なう。</p>	
<p>仕上げ材の加工を行なう際は先にマスキューブを仮置きしてから、仕上げ材とマスキューブまでの距離を測定を行なうと、後での微調整が不要になります。 加工の際に仕上げ材が 10mm 以下になると施工後の衝撃で割れる可能性があるため、加工はなるべくそれ以上の厚みにするか、目地材を詰めるなどしてください。</p>		
<p>2</p>	<p><b>配管の加工</b> 仮置きしたマスキューブと周りの仕上げ材を一度外し、配管のカットする高さをメジャーや水平器を使用し測定。 測定後に、ディスクグラインダー等の工具を使用し、配管の高さを調整する。</p>	
<p>3</p>	<p><b>設置位置の高さ調整</b> スコップなどを使用し、マスの上部とマスキューブ上部の高さが一致するように調整する。 その際、モルタルを充填する高さも考慮する。</p>	

<p>4</p>	<p><b>モルタル充填</b> 取り外した材料を元の位置に戻し、マスキューブ施工箇所にモルタルを入れる。</p>	
	<p>マスキューブ側の隙間にもモルタルを充填</p>	
<p>5</p>	<p><b>マスキューブ設置</b> マスキューブを施工位置にはめ込み、ゴムハンマーでたたき、高さを調整や位置を調整しながら、4隅に設置する。</p>	
<p>6</p>	<p><b>マスキューブ設置完了</b></p>	
<p>6</p>	<p><b>付着したモルタルの清掃</b> 刷毛と水を使用してマスに付着したモルタル等を除去。</p>	



7	<p><u>マスキューブ施工終了</u></p>	
8	<p>仕上げ材の目地を施工し、完了</p>	

8.施工後の注意事項

- ・モルタル硬化後、また目地材充填後は調整が出来ませんので、必ずそれらの前にマスキューブの高さや位置の調整は終わらせるようにしてください。
- ・廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従ってください。
- ・保管については、涼しい所・換気の良い屋内、火気のないところでセットをばらさずに保管してください。